

## 令和7年度 第2回授業アンケート結果（経年比較）

R7.12実施

質問No	観点	上段は座学質問、下段は実技質問	R7	昨年度比	R6	R5	R4	R3	R2	R1
1	授業に対する生徒の取組	授業内容を理解するために予習復習をし、宿題等の課題があれば必ず提出している。	3.55	→	3.55	3.5	3.5	3.43	3.42	3.35
		先生の指示やアドバイスに従い、授業に集中して取り組んでいる。								
2	授業に対する生徒の取組	授業内容に集中し、受身にならず積極的に学習に取り組んでいる。	3.51	↗0.04	3.47	3.41	3.38	3.32	3.31	3.24
		進んで実習に取り組むなど、受け身にならずに授業に積極的に参加している。								
3	授業に対する生徒の評価－生徒理解	先生の説明は的確で、理解しやすい。	3.45	↗0.04	3.41	3.35	3.32	3.28	3.23	3.14
		先生の指示は的確で、すべきことが理解しやすい。								
4	授業に対する生徒の評価－授業計画	先生は毎回の授業について、目標（目あて）や、大切なポイントを説明してくれる。	3.52	↗0.05	3.47	3.43	3.39	3.34	3.3	3.21
		先生は毎回の授業について、目標や取り組み方を説明してくれる。								
5	授業に対する生徒の評価－教材活用	先生は教科書の他、ICT機器やプリントその他の教具・教材をうまく使っている。	3.57	↗0.03	3.54	3.49	3.47	3.39	3.3	3.09
		先生は用具、ICT機器、プリントなど、教材をうまく使っている。								
6	授業に対する生徒の評価－授業展開	先生はワークを取り入れたり、クロムブックを活用する等 生徒が授業に主体的に参加できる工夫をしている。	3.53	↗0.05	3.48	3.41	3.41	3.3	3.24	3.05
		先生は生徒が授業に主体的に参加できる工夫をしている。								
7	授業に対する生徒の評価－授業分析	先生は生徒の授業への取り組み状況を適切に評価してくれる。	3.55	↗0.05	3.50	3.45	3.41	3.35	3.32	3.21
		先生は生徒の授業への取り組み状況を適切に評価してくれる。								
8	授業に関する生徒の意識	授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている。	3.4	↗0.03	3.37	3.3	3.27	3.29	3.2	3.09
		授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている。								
9	授業に関する生徒の意識	授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。	3.44	↗0.02	3.42	3.35	3.32	3.29	3.26	3.14
		授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。								
9項目平均			3.5	↗0.03	3.47	3.41	3.39	3.33	3.29	3.17

\*点数について 4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない (3点以上は肯定率が高いことを表す)

全ての項目で昨年より肯定率が向上した。（1項目は昨年と同じ）9項目平均は3.50に向上した。授業アンケートの満足度向上は、今年度の学校教育自己診断（生徒）の結果にもリンクしており、「授業がわかりやすい」肯定率84.2%（R6 80.4%）「授業では自分の考えをまとめたり発表したりする機会がある」肯定率91.8%（R6 88.1%）、「教え方に工夫をしている先生が多い」肯定率90.0%（R6 85.1%）、「評価の仕方や基準について、事前に知らされている」R7肯定率94.5%（R6 93.3%）など、ここ数年間で順調に向上していた肯定率がさらに軒並み向上した。このことは、教員個々による日頃の工夫や努力はもとより、相互授業見学や自主的な研鑽などの組織的な取り組みの成果が質の高い授業に繋がっていることを示す結果であり、生徒自身も知識や技能の向上や興味関心の高まりを実感していることがわかる。引き続き、次世代を担う生徒の成長に向け「チーム桜塚」での組織的な授業力向上を進めていきたい。